

## 第1章

# 基本理念・将来都市像

---

# 第1章 基本理念・将来都市像

## 1 基本理念

### (1) 人を育むまちづくり、まちを育む人づくり

市民一人ひとりが、地域の中での存在意義（居場所）やライフワークを見いだすことができるまちを目指したい。それは、個人の生きることの喜びや幸福感（生きがい）から、地域への愛着、誇りへと高まり、「上越市に住み続けたい、戻ってきたい」という思いや、上越市を支えようとする力の源泉、上越市全体の活力にもつながっていきます。

これらの積み重ねによって、市民のライフスタイルがまちの品格を高め、そのまちの力が市民の豊かなライフスタイルを育むという好循環によって、真の豊かさを実感できる上越市ならではの多様な暮らしが実現できると考えます。

### (2) 個性と調和、自立と共生によるまちづくり

上越市が持続可能な発展を遂げるためには、多様な市民や市内の各地区がお互いを認め合いながら切磋琢磨し、それぞれの個性を魅力へと高めながら市外へ広く発信するとともに、市全体として調和ある輝きを放つような一体感の醸成が必要です。

そもそも市内の各地区は、古来より自然・経済・社会的な面から深いつながりがあります。市町村合併と都市内分権<sup>21</sup>の推進は、その絆を再認識し、個性と調和のあるまちづくりを可能にするための仕組みづくりであり、これからは「チーム上越」として、真の意味でのチームプレーが求められています。

そのためには、個人が自立し、地域経済が自立し、行政が自立して、それぞれの役割をしっかりと担う中で、一人ひとりの市民や各地区が、お互いの良さをいかながら、共に支え合う共生関係を築いていくことが大切です。

各地区が個性を持った多様性のあるまちは、ライフスタイルの豊富な選択肢を提供することができます。また、それぞれの地区が個性を織りなすことによって、違いを認め合う心を育むとともに、違いのあるものが出会うからこそ生まれる新たな価値を育む大きな可能性を持つこととなります。

都市間競争の時代においては、個性の過度な主張による対立構造や、多様性が淘汰されることによる画一化が進み、地域の衰退へとつながることも少なくありません。だからこそ、多様性の維持のためには絶え間ない努力が必要となります。

### (3) 次世代につなぐ持続可能なまちづくり

人口減少、財政難の時代においては、経済・社会・環境の面から持続可能性を前提とした地域経営が必要です。そのためには、右肩上がりの成長志向に基づく取組を改めていく一方で、上越市らしさを醸し出す地域資源<sup>17</sup>を守り、育み、次世代に継承していく必要があります。

## 2 将来都市像

私たち上越市民が愛着を感じている豊かな自然環境は、地勢や気候の面から見ても特に起伏や多様性に富んでいます。あたたかくて冷たく、やさしくて厳しく、恵みと災害を共にもたらすなどの二面性を持った海・山・大地の自然環境によって、人々の知恵、体力、感性や生活文化が培われてきたと言えます。

多くの社会問題が複雑に絡み合う時代を生き抜くためには、多種多様な知恵の習得が必要とされます。このような時代であるからこそ、この豊かな自然環境をかけがえのない地域資源<sup>17</sup>として再認識し、豊かな生活を営むための身近な存在として深い関わりを持ち続け、そのことを通じた「学び」ができる環境を大切にしたいと考えます。

一方、人口減少社会や情報社会の進展を考えたとき、改めて人の持つ力や、人から人への直接的な伝達、人と人との「出会い」によって生まれる新たな力に着目すべきと考えます。

上越市は、古来より交通の結節点にある都市として栄えてきました。また、北陸や関東甲信越、東北などの様々な地域区分が重なり合う地域でもあり、上越市は地勢的、歴史的に交流を盛んにできるポテンシャル（潜在能力、可能性）を持っています。今後、北陸新幹線をはじめとする高速交通体系をまちづくりにおいて有効活用していくためにも、交流の必要性はますます高まってくると言えます。

また、市民の交流によるつながりも重要です。子育てや教育、防犯、防災などの様々な分野において、人と人とのつながりの希薄化が主な要因となっている問題も数多くありますが、この絆を強め、大切にしていくことで、安全・安心な空間を育んでいきたいと思えます。

人は最大の資源であり、学びと出会いが織りなす共鳴によって得られる力は絶大です。学びの豊かな人と人が出会うことによって、それぞれが知恵や人間性を高め、その豊かな人間性がさらに豊かな出会いを創出することで、知恵が知恵を、人が人を呼び込み、あらゆるものを創造する源泉となっていく、そんな上越市であってほしいと考えます。

さらに、お互いの良さをいかしながら、共に支え合い、共に生きていく“共生都市上越”。この新市建設計画の将来都市像に込めた思いを改めて確認する趣旨から、「共生」を加えた上で、上越市の目指す将来都市像を次のように掲げます。

**海に山に大地に 学びと出会いが織りなす 共生・創造都市 上越**